

88HOUSE ORIGINAL PARTS

ジャンプスターター ITO-42000 保証書・取扱説明書

<注意>

・保証を受ける時はこの取扱説明書兼保証書が必要になりますので大切に保管してください。保証書無き場合は一切の保証が受けられなくなるので、ご了承ください。

<お客様へ>

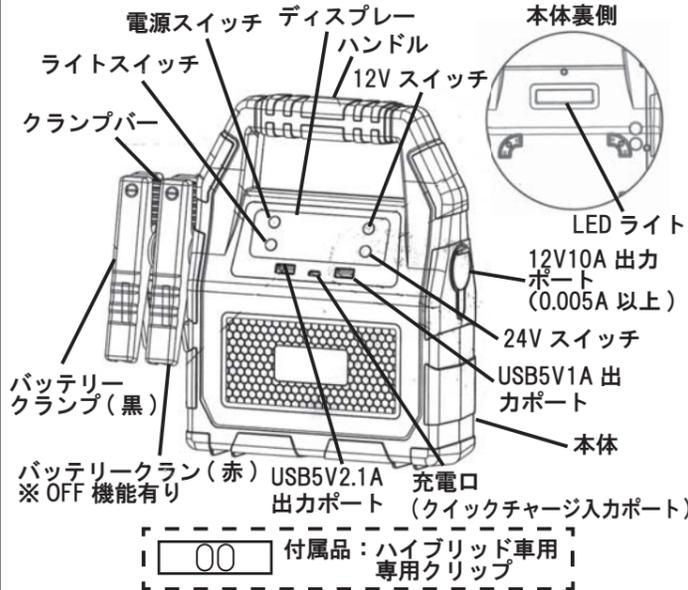
- ・ご使用前、安全に正しくお使いいただく為に必ず「取扱・取付説明書」をよくお読みになってください。
- ・お読みになられた後も、必ず必要になる時がありますので、「取扱・取付説明書」は大切に保管してください。

ご使用前に、ご確認ください！

- ・パッケージから出して最初にお使いになる時は満充電にしてから使用してください。
- ・この商品のバッテリークランプ(赤)は電源をOFFにする為の機能が備わっています。ご使用前に「バッテリークランプ(赤)のOFF機能について」を必ずご確認ください。
- ・使い終わったときはバッテリークランプをクランプバーに止め通電をOFFにした状態で保管してください。

各部の名称と構成

注意：バッテリークランプ(赤)は電源をOFFにする機能が備わっていますのでご使用前に必ずご確認ください。



ディスプレイについて

- 1) 本体の電源スイッチを押すと、ディスプレイに「BATTERY」が表示されます。
 - 2) 同時に以下の内容も表示され、本体の充電状態を確認することができます。
- その他の表示については裏面をご覧ください。

ディスプレイ表示	内容
100%	満充電(100%)を表しています。
数字+%	電気の残量を%で表しています。
BATTERY LOW RECHARGE NOW	本体の電気が少ない状態で、充電が必要です。

充電方法

- 1) 付属の充電器をコンセントに差し込んでください。
 - 2) 充電器に付属のケーブルを接続して、もう片側は本体の「充電口(クイックチャージ入力ポート)」に差し込んでください。
 - 3) ディスプレーに「CHARGING」が表示され充電が始まります。
 - 4) 充電が完了すると、ディスプレイの表示が消え終了します。
- 注意：充電に関して下記の故障は保証対象外となります
- ・ケーブルに足が引っ掛からない場所を選んで充電を行って下さい。ケーブルに足を引っかけて等の急な引っ張りによる破損は保証対象外です。
 - ・充電中に本体を倒すとコネクターと配線が床にぶつかり充電口が破損します。充電口の破損は保証対象外です。

電源とLEDライトの使用方法

電源スイッチの使用説明

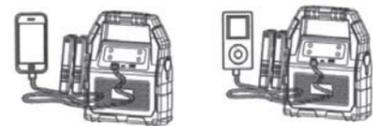
- 1) 各出力口にケーブルを差し込んだ後に、スイッチを1回押す事でジャンプスターターまたは各機器への給電や充電を行うことができます。

LEDライトスイッチの使用方法

- 1) ライトスイッチを押すことでLEDライトが点灯します。
 - 2) LEDライトが点灯している状態でスイッチボタンを1回押すと点滅し、その次に1回押すとSOS信号点滅、その次にもう1回押すと消灯します。
- ※LEDランプは点灯→点滅→SOS→消灯の順です。

USB用品または12Vカー用品に給電する方法

- 1) 用品に合うプラグやケーブルを選んでください。
 - 2) 用品に合わせて各ポートにケーブルを接続してください。
- ◎USBの場合
用品に合わせて「USB5V/1Aポート」または「USB5V/2.1Aポート」にケーブルを接続してください。
- ◎12Vカー用品の場合
1) 「12V/10Aポート」にケーブルを接続してください。
2) 電源スイッチを押して給電してください。
3) 電気が必要無くなるまで本体は自動的にオフになります。最低消費電力:0.005A以上 ※以下は30秒で電源を落とします。



エンジンスターターの注意

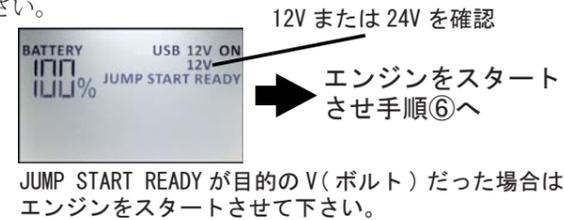
- スタートは3秒以内で行い30秒休ませてから次のスタートを行ってください。3回連続でスタートさせて、エンジンがスタートしない時は他に原因があると思われます。
- バッテリークランプ(赤)を握って開いた状態になると出力がOFFになります。OFFになると「12V JUMP START READY」は表示されなくなります。細かい内容は「確認のお願い」のページをご覧ください。
- 強制的に電気を出力した場合は60秒でOFFになります。
- 自動で12Vまたは24Vを認識し電源がONになる場合は12Vで車両のバッテリーが9V以上、24Vで車両のバッテリーが18ボルト以上となります。
- 24V車の場合で車両のバッテリーが18V以下の時は12Vと誤認識してしまうため必ず「エンジンスターター(12V、24V)」の手順でスタートさせてください。またバッテリークランプ(赤)がOFFスイッチになっていることにも注意してください。
- 本体のプラス、マイナスの判断はOFF時でも2V以上で判断します。

エンジンスターター(12V、24V)

- スタートさせる前に必ず取説の他の項目も良くお読みください。
 - 12V車も24V車も次の手順でエンジンスターターを行ってください。
- ①電気の容量が60%以上あることを確認してください。
 - ②バッテリークランプ(赤、黒)を車両のバッテリーターミナルに接続してください。
- 注意：Reversedが点灯して音がなった時はプラス、マイナスを逆に接続しています！クランプをすぐに外してプラス、マイナスを付け替えてください。



- ③ディスプレイの表示に従ってください。
- 12V車、24V車で
「12Vまたは24V JUMP START READY」が表示された場合はそのままエンジンをスタートさせて手順⑥へ進んで下さい。



- 12V車で
12Vが点滅したときは12Vスイッチを長押しし「JUMP START READY」を表示させ60秒以内にエンジンをスタートさせて手順⑥へ進んで下さい。



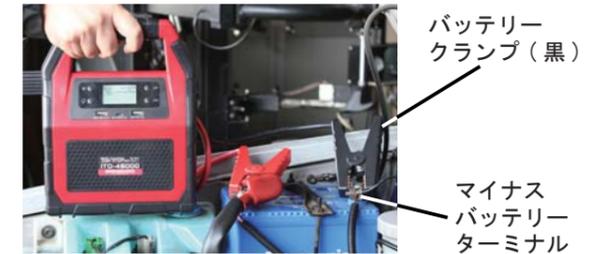
- 下記3つの場合はマイナスクランプ(黒)だけを外し手順④へ進んでください。
 - ・24V車で「12V JUMP START READY」が表示された場合
 - ・24V車で12Vが点滅した場合
 - ・12V車、24V車でディスプレイに反応が無い場合
- 注意：プラスクランプ(赤)は絶対に外さないでください！もし外してしまった場合は逆接続防止のため手順②からやり直してください。
- 3つの場合に当てはまる時はマイナスクランプ(黒)だけを外して次の手順を行ってください。



- ④電源スイッチを押してから使いたいV(ボルト)12Vまたは24Vのスイッチを長押しして「JUMP START READY」が表示されるのを確認してください。



- ⑤マイナスクランプ黒を車両のマイナスターミナルに再接続して60秒以内にエンジンをスタートしてください。



- ⑥エンジンがスタートしたら直ぐにプラスクランプ(赤)を外してください。

確認のお願い

バッテリークランプ+(赤)のOFF機能について ご使用前に必ず確認してください!!!

- ◎このジャンプスターターのプラス側バッテリークランプ(赤)には、ON/OFF機能がついています。
- ◎バッテリークランプ(赤)が閉じている状態で通電、開いている状態で通電停止になります。
- ◎下記説明を参照して確認してください。クランプバー

<確認方法>

- 1) バッテリークランプ(赤)をクランプバーから写真の様に外してください。
- 2) 電源スイッチを押して電源をいれてください。
- 3) 12Vまたは24Vスイッチを長押ししてディスプレイに「~V JUMP START READY」が表示されることを確認してください。
- 4) 表示されている事を確認した後にバッテリークランプ(赤)を握って開くとディスプレイの「~V JUMP START READY」が消灯し通電しなくなる事を確認してください。

- ※「~V JUMP START READY」の表示はそのままの状態でも40~60秒後に消灯し通電しなくなります。
- 5) バッテリークランプは写真の様にクランプバーに取り付け、開いたOFFの状態でご保管してください。

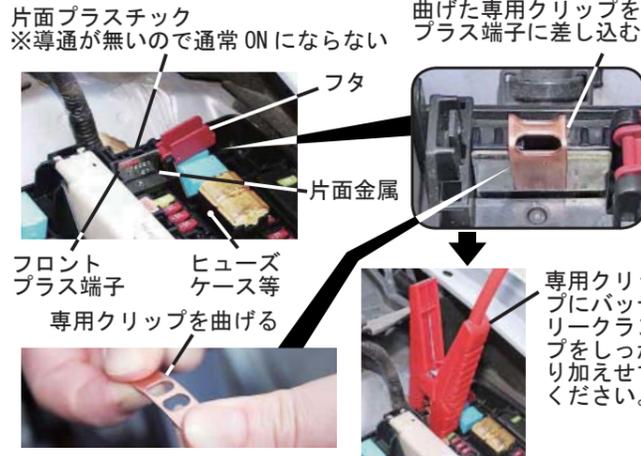
バッテリークランプ(赤)
※本体に取り付け、開いた状態の電源OFFで保管



ハイブリッド車について

■ハイブリッド車について（主にトヨタ車）

※車両のバッテリーがリアに有りフロントにプラス端子が出ている場合、片面金属、片面プラスチックなのでバッテリークランプをはさんでも～START READYになりません。その時は付属の「専用クリップ」を写真の様に折り曲げプラス端子にはさんだ後にしっかりと専用クリップにバッテリークランプを挟み込んでください。「専用クリップ」取り付けが終わったら「エンジンスタート（12V、24V）」の手順でエンジンをスタートさせてください。



エンジンスタート時の警告

■ハイブリッド車について（主にトヨタ車）

※車両のバッテリーがリアに有りフロントにプラス端子が出ている場合、片面金属、片面プラスチックなのでバッテリークランプをはさんでも～START READYになりません。その時は付属の「専用クリップ」を写真の様に折り曲げプラ



くわえる面積が小さいと発熱し故障します。面積を大きく取り発熱を抑えてください。

ス端子にはさんだ後にしっかりと専用クリップにバッテリークランプを挟み込んでください。

■警告

以下の内容で故障、災害が起きても保証対象外なのでご注意ください。
※クランプをはさむ時は面積を大きく取って下さい。面積が小さいと異常発熱が起こりクランプ、基板、バッテリーが破損します。

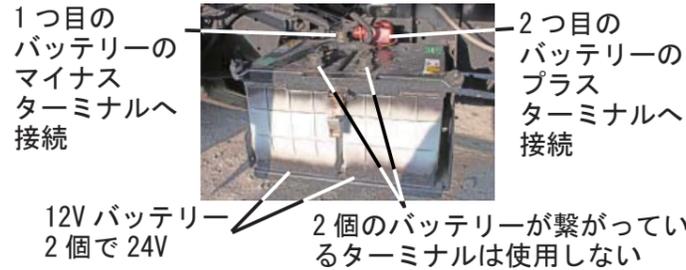
※スタート後バッテリークランプは必ず（赤）から外してください。
※スタート時にバッテリークランプを接続したままエンジンの空吹かしを行うと電流がジャンプスターターに流れて異常発熱する可能性があるため絶対に行わないでください。

スペック

寸法：248mm × 248mm × 96mm
重量：2230 g
容量：42000mAh
出力：12V/ エンジンスタート用、24V/ エンジンスタート用、USB/5V/2.1A、USB/5V/1A、12V/10A(0.005A 以上)
入力：クイックチャージ(5V/2.4A、9V/2A、12V/1.5A、)
充電：100%充電：約 10 時間 (0 パーセントから)
スタート電流：12V-600A 24V-600A
ピーク電流：12V-1500A 24V-1500A
使用温度範囲：環境 -20 ～ 60℃
バッテリー：リチウムイオン
※諸元は、使用方法や環境によって変化する為、性能を永年保証するものではありません。

24V 車へつなぐときの注意

- ◎ 24V 車は特殊なケース以外をのぞいて 12V のバッテリーを 2 個つなげています。バッテリーターミナルへのバッテリークランプの接続は写真の様に接続してください。
- ◎ 車両によりバッテリーの配列やターミナルの接続はいろいろな種類があるので注意してください。
- ◎ 12V で反応してしまうときは「かんたんスタート！」をためてください。



ディスプレイ表示一覧

■ディスプレイに表示される案内です。ディスプレイの指示に従って操作してください。⑥～⑨はエラー表示なので特に注意してください。



- ① [CHARGING] 状態：充電中です。
- ② [BATTERY]「～%」 状態：充電量を表示しています。
- ③ [USB 12V ON] 状態：USB と 12V/10A 出力が使用できます。
- ④ [JUMP START READY] 状態：通電されスタートできます。
- ⑤ [LOW BATTERY RECHARGE NOW] 状態：充電量が少なく直ぐに充電してください。
- ⑥ [OUTPUTS LOCKED] 状態：異常を感じて本体がロックしています。対策：バッテリークランプを車両から外し 2～5 分放置しておけば、ロックが解除されます。頻繁にロックする時は、車両側に原因があると思われるので、使用を中止してください。
- ⑦ [WARNING CLAMPS REVERSED] 状態：プラス、マイナスを逆に接続しショートしています。対策：直ぐにクランプを車両から取り外し本体の使用を控え販売店にご相談ください。※詳細は危険をご覧ください。
- ⑧ [SHORT CIRCUIT] 状態：異常な電気がながれ通電を止めています。対策：クランプを車両から取り外し車両側の異常な電気の流れを調べてください。また ACC ON 時に接続してしまった時も表示されます。
- ⑨ [CHECK ALL CONNECTIONS] 状態：接続エラーです。対策：クランプを車両から取り外し接続を見直してください。

技術的なお問い合わせ

使用方法で分から無い時や修理のご依頼は下記にご連絡下さい。
平日（土日祝、年末年始、お盆は対応していません）
受付時間 10 時～ 12 時、13 時～ 15 時、16 時～ 17 時
株式会社ハチハチハウス 048-489-1888

お手入れと保管方法

- 保管するときはなるべく満充電の状態でご保管してください。保管後も 3 ヶ月に一度は満充電にして保管してください。
- 保管するときはバッテリークランプをクランプバーにはさんだ状態で保管してください。
- 本体が汚れたら固く絞ったタオルで軽く拭くようにしてください。

ご注意ください！危険

■以下の内容で使用した場合は本体が破損し死亡または障害が起こる事があります。十分に注意して取り扱いを行ってください。また以下の内容での故障は保証が受けられませんのでご了承ください。

⚠ 危険

高温環境下での保管（車内保管等）は、絶対に行わないでください。
※製品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所や高温環境下に保管すると火災、感電、故障の原因になり、器物等が破損し、重大な障害、または死亡する可能性があります。上記の場所での保管は絶対に行わないでください。
●バッテリー残量が 60% 未満の場合はエンジンをスタートさせないでください。電池の容量が 60% を下回ると電圧が急激に上がることで電池が異常に熱くなり、本体が破損します。
※高温で破損した場合の保証は出来ませんので、ご了承ください
※ 40% までのスタートはカバーできますが下回ってしまうと必ず故障します。余裕をみて 60% 以上でスタートしてください。
●バッテリークランプをバッテリーの端子に挟むときは面積を大きく取ってください。
※面積を大きくとらなかつたり板のような部分に挟むとバッテリークランプが熱を持ちたり火花が出たりし必ずバッテリークランプが変形します。バッテリークランプの変形や溶けに関しては保証できませんので、ご注意ください。
※クランプが変形するような使用をした場合は基板の部品が壊れたり電池が消耗する場合があります。保証対象外になります。
●バッテリークランプの+-の逆接続、バッテリークランプの接続は絶対に行わないでください。
※逆接続は必ず故障するので絶対に行わないでください。
※+-の逆接を行うと安全装置が働き「WARNING CLAMPS REVERSED」が表示され安全は確保されますが機器の故障を排除するものではありません。
※逆接した場合は放置せずにすぐクランプを外して下さい。そのまま放置すると爆発するので迅速に対応してください。
※逆接を行った場合本体が破損している可能性があり危険なので再使用せず弊社へ修理に出すか製品を破棄して下さい。
●ジャンプでエンジンスタートさせる時のセルの長回しは、行わないでください。セルを回す時は、長くて 3 秒以内でやめ、30 秒程本体を休ませてから、再度セルを回すように心掛けてください。
●セルの長回しを行うと、必ず本体が膨らみます。
※セルの長回しを連続で行うと電池が熱を持ち必ず本体が膨らみます。また熱で回路を破損させてしまいます。この症状に関しては、原因が分かっているため保証できませんので、ご注意ください。特に夏場のセルの長回しは必ず本体が膨らむ為ご注意ください。
●連続で 3 回セルを回してエンジンがスタートしない時は、使用を中止してください。
※ 3 回でエンジンがスタートしないときは、車両側に原因があると考えられます。車両側に原因がある状態で使用し続けると、本体が破損します。また 600 秒の安全装置が働きます。
●本体が発熱している時の連続使用は行わないでください。様子を見ながら本体が十分に冷えたのを確認し使用してください。
※連続で使用すると異常発熱が起こり本体が膨らんだり破損したりします。
●スタート時にバッテリークランプを接続したままエンジンの空吹かしを行うと電流が本体に流れて異常発熱する可能性があるため絶対に行わないでください。
※異常発熱による破損、ボディーの溶け、膨らみは保証できませんので、ご注意ください。
●エンジンをスタートした状態でジャンプスターターをバッテリーに接続したまま使用を続けしないでください。また走行もしないでください。
※接続したままにすると大きな電流が本体に流れるため安全装置が破損しバッテリーが熱を持ち火災が起る可能性があります。
※接続したままに走行するとバッテリークランプが振動で火災が起ります。
●消耗しきっている車両のバッテリー（死んだバッテリー）に接続すると本体の電池の寿命が短くなる場合があります。
※消耗しきっているバッテリーに接続すると本体の電気が車両のバッテリーへ急激にながれ本体が熱くなり製品の寿命が短くなります。また安全装置が働き作動しなくなる事もあります。
※仕事で消耗しきっているバッテリーへの接続が多い作業は確実に寿命は短くなります。
●その他の注意
○湿気や水がある場所での使用は避けてください。
○電池の改造、解体をしないでください。
○子供が触らない所に置いてください。
○製品を焼却炉に入れて燃やさない様に注意してください。
○製品に付属する充電器以外で充電しないでください。
○充電中の室内温度は 0 ～ 40℃以内を守ってください。
○充電中に異常や故障かなと思ったら、販売店に連絡してください。
○製品の液体が目に入った時は、直ぐに水で洗って医者に相談してください。
○充電中や放置中に、製品が熱くなったり色が変わったりした時は、使用を中止して下さい。液体の漏れ、煙の発生、火災になる可能性があります。
○充電中は製品を燃えやすい物の上に置かないで下さい。（ベッドやタオル等）
○保証を受けるときは、この保証書が無いと受けられませんのでご注意ください。

故障かなと思ったら

- ジャンプさせたら電源が入らなくなった
- ジャンプスタートさせると外気温や使用方法によって急激に電圧降下が起こり、本体の保護回路が働き、電源が入らなくなる時があります。5 分ほどの放置または再充電を行うことで解除させることができます。故障ではありません。
- 1 年近く使用しジャンプの回数が減り弱くなった。
- 始動可能排気量や回数は新品のデータによる目安です。電池は使用頻度や環境により劣化していきますので、これを永年保証するものではない為、故障ではありません。
- 3～4 年保管後、使用したらジャンプが弱い。
- 充電をせずに放置したり、環境により、使用しなくても電池には寿命がある為、故障ではありません。

保証対象外のケース

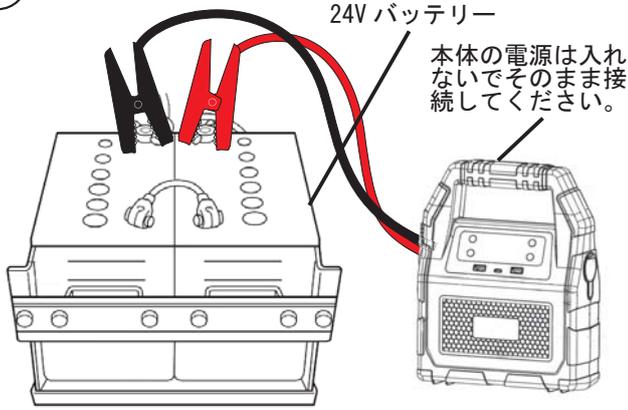
- 充電に関して下記の故障は保証対象外となります。
- ケーブルに足が引っ掛からない場所を選んで充電を行って下さい。ケーブルの急な引っ張りによる破損は保証対象外です。
- 充電中に倒すと充電口が破損します。充電口の破損は保証対象外です。
- クランプの破損は保証対象外となります。
- クランプが変形するような使用は本体内部が故障してしまうことがあります。クランプの変形、焦げ、溶けによる本体内部の部品の破損、バッテリーの破損は保証対象外となります。
- クランプをはさむ時は面積を大きくとらないと発熱しクランプが溶けたり焦げたりすることがあります。このような場合も保証対象外となります。



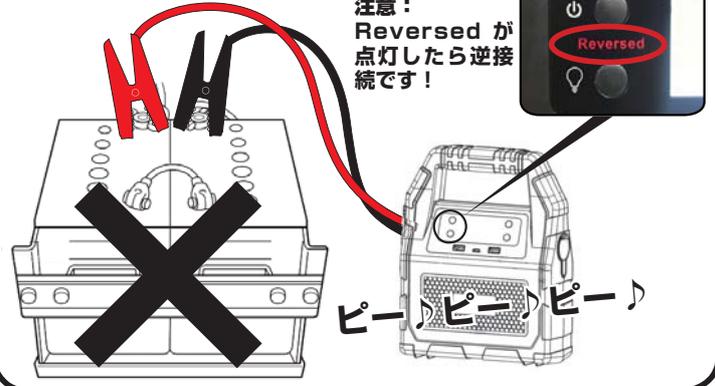
販売元
株式会社ハチハチハウス
〒352-0017 埼玉県新座市菅沢 2-10-12

24V車、強制出力によるエンジンジャンプスタート方法！

① プラス / マイナスを接続してください



② 音が鳴ったら逆接です。直ぐに繋ぎ変えて下さい！

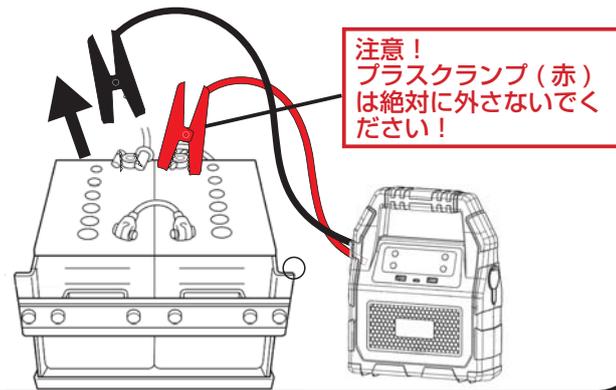


③ ディスプレイの表示内容が「12Vの点滅」「12VJUMP START READY」なら④の手順へ進んで下さい。

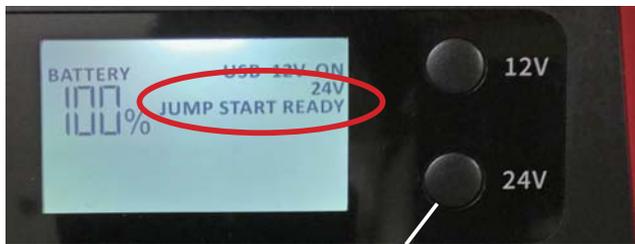


「12Vの点滅」「12VJUMP START READY」以外の表示は取扱説明書をご覧ください

④ マイナスのクランプをバッテリーから外してください。

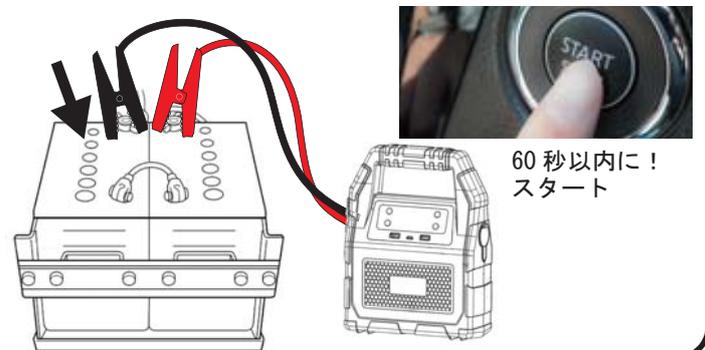


⑤ 24Vスイッチを長押しして「24 VJUMP START READY」を表示させてください。



24Vスイッチを長押ししてください。

⑥ マイナスのクランプを再びバッテリーへ接続し60秒以内にエンジンをスタートさせてください。



お問い合わせ / 株式会社ハチハチハウス TEL:048-489-1888

プラス、マイナス逆接続を行なったの強制出力による破損は保証を受けられません！

12Vでスタートさせるトラックもあるので注意してください。(例:ブルーテックキャンター、4P10エンジン搭載車)